

乳牛に対する一日一回哺乳方法

通常一日二回の哺乳管理を、一回哺乳マニュアルにより一日一回にすることで二回哺乳と同等の発育を確保しつつ、管理の省力化とコストの低減が可能となる。また、下痢の発生は、通常の二回哺乳と同等以下に抑えることができる。

一回哺乳の体系

分娩	7日	15日	25日	35日齢
初乳 4~5 L/日	代用乳：2.5 Lの温湯に溶かす			
	250 g/日	300 g/日	350 g/日	
	人工乳 1 kg/日上限 ボトルで給与		1.5 kg/日上限 ボトル、バケツで給与	
水、乾草：自由飲水、採食				

一回哺乳マニュアル（雪印種苗）一部改変

生後7日間は、初乳・全乳を朝夕2回給与する。

人工乳は、専用ボトル（プラスチック製瓶に乳頭様ニップル付き）で給与する。

哺乳時間は、朝夕の作業の忙しい時間帯を避けて行うことができる。

哺乳は、毎日決まった時間に行い牛の状態に注意する。哺乳時間以外にも牛の観察は、頻繁に行うことが望ましい。

水、乾草は、いつでも新鮮なものを用意する。

35日齢での離乳が可能である。



写真1 一回哺乳の子牛とカーフハッチに取り付けられた専用ボトル